

スキャンツールを活用した整備の高度化等推進事業

■背景

○次世代自動車等は高度な電子制御技術によって大幅に省エネ性能が向上。電子制御装置等の故障の検知・整備にはスキャンツールが必要不可欠。

○スキャンツールは高価であり、全ての自動車メーカーに対応していない等の課題により、市場の多くを占める中小の整備事業者には普及していない。

■革新的スキャンツールの市場投入

○産学官一体となって、汎用スキャンツールの標準仕様及び機器開発に必要な情報提供指針を策定。

○平成24年度中に全メーカー対応型汎用スキャンツールが市場に投入。



■課題

○新規に開発されるものであるため高価にならざるを得ない

○使い勝手が悪い可能性もある

スキャンツールを活用した整備の高度化等推進事業 (H25-H27年度 1/3補助)

電子制御による新技術が活用されている自動車の省エネ性能の維持に必要なツールの導入を支援。

汎用スキャンツールの導入

(ハード対策)

整備の高度化による省エネ性能の劣化防止



■省エネ効果の算出

補助を受けた事業者は、スキャンツールを活用した車両数、及び検知した故障コード等のデータを、一定期間収集し国交省へ報告。国交省は低出された実績データを集計分析し、エネルギー削減効果を算出。

■スキャンツールについて

スキャンツールとは、車両とコネクタで接続し車両内の電子制御ユニットと通信を行い、解析及び整備するために使用するツールで、言わばクルマの電子制御状態を「見えるようにする機器」である。



ダイアグコード(故障コード)
センサの断線など、故障箇所や状態を表示するコード



J-OB2 II (レディネスコード)
排気ガス発散防止装置等の作動状態の診断結果を表示する機能